



きらめき

kirameki



発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL:0278-22-4321(代表) FAX:0278-22-4393
URL:<https://www.tonehoken.or.jp/>

新任医師 紹介

Obstetrics and
Gynecology



産婦人科

阿部 靖子

あべ やすこ



利根沼田地域の大自然に魅了され、神奈川県川崎医療生協から参りました。地域の周産期医療・婦人科医療の砦となっている利根中央病院の一員に加わらせていただき身が引き締まる思いです。精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

10月から勤務させていただきます。鈴木翔大と申します。山形大学卒、済生会前橋病院で初期研修をさせていただきました。整形外科医として地域の皆様のお役に立てるように元気に頑張ります。よろしくお願いいたします。

Orthopedic
Surgery



整形外科

鈴木 翔大

すずき しょうた



General
Medicine



総合診療科

片山 泰明

かたやま たいめい



初めまして。栃木県宇都宮市、国立病院機構栃木医療センターからきた片山泰明と申します。総合診療内科専攻医2年目です。どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科 紹介

腎臓内科は、常勤医2名体制で診療を担当しています。一般腎臓外来(水曜)および透析外来(土曜)には群馬大学医学部附属病院腎臓リウマチ内科から外来応援を受けています。マンパワーが豊富とは言えませんが、コメディカルを含めて、様々な方に協力をいただきながら、利根沼田地域において腎臓診療を行っております。

腎臓診療に関しては、慢性腎臓病に対する診療が大部分を占めます。慢性腎臓病は、原因にかかわらず3ヶ月以上続く腎機能低下をきたす全ての腎臓病のことをいい、慢性腎不全とほぼ同義になります。現在日本には慢性腎臓病の患者は1300万人以上いると推計され、日本人の10人に1人以上がこの病気に罹患していることになります。慢性腎臓病が進行することで、心筋梗塞や脳血管障害のリスクが非常に高くなります。また、最終的に、末期腎不全に至れば、腎代替療法が必要になります。

腎代替療法としては、①血液透析・②腹膜透析・③腎移植の3つがあります。当院でも、以前から継続して血液透析外来は行っていますが、この度、約10年ぶりに腹膜透析外来を再開しました。腎移植については、群馬県内でも少数の施設でしか行えませんが、行っている施設と連携して診療しております。

一方で、急性腎不全でも血液浄化療法を施行するこ



腎臓内科 科長(部長)

岡部 智史

おかべ さとし



とがありますが、バイタルサインや全身状態が不安定ゆえに、通常の血液透析が施行しにくいことも多いです。そういった場合に適応となる血液浄化療法である、持続的血液濾過透析を施行できる多用途血液処理用装置を、当院でも2018年に導入し、症例毎に応じて施行をしています。

今後も、利根沼田地域の腎臓診療の需要に応えられるよう、努力したいと思います。



腎臓内科 医長

大塚 瑛公

おおつか まさのり



透析室スタッフ



5B病棟スタッフ



放射線科 紹介

当院放射線室は、診療放射線技師11名と看護師1名で構成され、若い技師が多く在籍する活気ある職場です。毎月学習会を開催して知識や技術の向上に努めるとともに、インストラクター資格を持つ技師の指導のもと、全員が毎年BLS講習を受講しています。さらに、CT・MRI 検査中の患者急変に備え、毎年多職種を交えたシミュレーション訓練を行い、迅速かつ適切な対応力の向上に努めています。こうした取り組みにより、新しく入職した職員も安心して業務を学び、すぐに馴染める環境が整っています。

地域特性として、春から秋にかけては尾瀬ヶ原、冬は谷川岳や周辺9カ所のスキー場から外傷患者が多く搬送されます。増加する救急医療や小児救急に対応するため、診療放射線技師が常駐し、救急外来や病棟での緊急CT・MRI検査、さらには緊急心臓カテーテル検査にも迅速に対応しています。さらに当院は災害拠点病院に指定されており、放射線技師の中には日本DMAT隊員も在籍し、実際に派遣・出動した実績もあります。

読影業務については、Amiacの協力を得てCT・MRI画像の診断支援を行っています。昨年度には第二



放射線室 技師長

本多 拓晶

ほんだ ひろあき



TV装置を更新し、内視鏡画像や透視画像、過去画像、電子カルテを一度に表示できるように改良しました。さらに、X線管球を上下左右に可動させることでERCP検査の利便性を大きく向上させています。

また、当院はマンモグラフィ健診施設認定を取得しており、検診マンモグラフィ撮影認定技師の資格を持つ女性技師3名が健診や乳腺外来を担当しています。さらに、利根診療所や片品診療所の整形外科外来に対応するため、月に数回は現地に赴き一般撮影を行うなど、地域医療を支える役割も担っています。

今後も若い力を育成しながら、救急体制の強化や撮影技術のさらなる向上に努め、地域に根ざした安心・安全な医療の提供に貢献してまいります。



血管造影室



TV室



リレー・フォー・ライフに参加

10月11日(土)～12日(日)にALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドにて開催され、院内の有志50名ほどで参加してきました。

群馬県では2013年より開催されており、今回で11回目の参加となりました。

リレー・フォー・ライフとは、がんと戦う方々の勇気を称え、がん患者やその家族、周囲の方ががんと戦う連帯感を育むため、夜通し交代で歩くリレーイベント

とチャリティー活動の事です。

会場には模擬店や啓発ブースがあり、2日間にわたって様々なイベントが開催されておりお子様も楽しめるものになっています。当院職員もリレーイベントへの参加、ルミナリエの作成を通して会場へ想いを届けました。当院はがん診療連携推進病院に指定されています。がん患者様に寄り添う病院としてこれからも参加していきたいと思います。



会場となった ALSOK ぐんま総合スポーツセンター



化学療法室の横幕と当院の参加者

沼田利根医師会と情報交換会を開催

9月26日(金)に第12回沼田利根医師会・利根中央病院情報交換会を開催し、総勢79名の参加となりました。

当院からは診療体制についてのご案内、研修医の紹介をさせていただき、医師会の先生方からは日頃の患

者紹介等に対する意見や研修医の先生方への温かい言葉など沢山いただき、励みとなりました。

「顔の見える情報交換」を通して今後もより一層良好な関係を保ちながら、当地域での医療完結を目指すための更なる連携強化が確認されました。



交流会の様子



研修医紹介